# 日野市子ども・子育て支援に関するニーズ調査 【ご協力のお願い】

皆様には、日頃より日野市政にご理解、ご協力いただき厚く御礼申し上げます。

さて、日野市では、子育てしたいまち しやすいまち日野を目指して「日野市次世代育成支援 行動計画(ひのっ子すくすくプラン)」(平成17年~26年)を策定し、子育て支援施策を推進 しております。

平成 24 年8月には「子ども・子育て支援法」をはじめとする「子ども・子育て関連3法」が制定され、平成27年度からは新たな子ども・子育て支援新制度がスタートする予定です。

そこで、市では子ども・子育て支援新制度開始に伴う事業計画を策定します。この事業計画の 策定にあたり、確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を算出するため、住民 の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握す るため、本調査を行います。

この調査は、子育て支援関連事業者・団体の方にご協力をお願いするものです。

ご回答いただいた調査内容は、今後の子育て支援施策を進めていくための基礎資料にのみ利用させていただくもので、個々の回答内容が他にもれたり、調査の目的以外に利用されたりすることは一切ございません。

つきましては、ご多忙のこととは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力ください ますようお願い申し上げます。

平成25年12月

日野市長 大 坪 冬 彦

# 【回答にあたってのお願い】

- 1 ご回答は、選択肢に〇をつけてお選びください
- 2 ○をつける数が設問によって異なりますので、注意書きに従ってください。 また、その他をお選びいただいた場合は、その後にある( )内に具体的な内容をご記入ください。
- 3 設問によって、回答する方が限られている場合があります。ことわり書きに 従ってください。
- 4 ご回答しにくい設問がありましたら回答せずに、次の設問に進んでいただいてもかまいません。
- 5 ご記入いただいた内容につきましては、調査の目的以外に使用いたしません。
- 6 ご記入が済みましたら、お手数ですが、<u>同封の返信用封筒に入れ、切手を貼</u>らずにポストにご投函ください。

提出(投函)期限:平成25年12月25日(水)

< お問合せ先> 日野市子育て課 電話 042(585)1111 担当 谷 剛毅(内線2518)谷 光彦(内線2512)

#### いただいた回答は地域の子育て支援の充実に生かされます



子育て家庭

アンケート調査等により、子育て 家庭の子育て支援の利用状況や 利用希望等を把握



市町村



地方版子ども・子育て会議等

調査等によって把握された利用希望等を考慮して、 今後の計画を策定



幼稚園、保育所、 認定こども園



小規模保育、家庭 的保育 等

放課後児童クラブ、地域 子育で・支援拠点事業、 一時預かり、病児・病後 児保育 等



計画に基づいて整備

# <u>市町村子ども・子育て支援事業計画</u> (5か年計画)

幼児期の学校教育・保育や地域の子育て支援について

- ・「量の見込み(現在の利用状況+利用希望)」
- ・「確保方策(確保の内容+実施時期)」 を記載

)

## <u>1 施設・グルー</u>プの概要について

問1 貴施設・貴グループの活動内容の種類についてお答えください。

施設の名称								

#### 施設の所在地

日野市

#### 施設の種類

- 1. 保育園・保育所
- 2. 幼稚園
- 3. 子育て活動グループ・NPO
- 4. その他(

2 家庭や地域での子育ての実態について

- 問2 日々子どもやその親たちと接する中で、親が子育てに関してどのような悩みや 問題を抱えていると感じますか。 (あてはまるものすべてにO)
  - 1. 病気・発育・発達に関すること
  - 2. 食事や栄養に関すること
  - 3. 育児の方法がよくわからない事
  - 4. しつけの仕方がわからない
  - 5. 子どもとの接し方に自信がもてない
  - 6. 子どもとふれあう時間を十分取れない
  - 7. 話し相手や相談相手がいない
  - 8. 仕事や自分のやりたいことが十分できない
  - 9. 子どもの教育に関すること
  - 10. 友達づきあい
  - 11. 登園拒否などの問題
  - 12. 子育てに関しての配偶者(パートナー)の協力が少ない
  - 13. 子育てに関しての配偶者(パートナー)と意見が合わない
  - 14. 自分の子育てについて親族近隣の人・職場等周囲の目が気になる
  - 15. 配偶者(パートナー)以外に子育てを手伝ってくれる人がいない
  - 16. 子どもを叱りすぎているような気がする
  - 17. 子育てのストレスがたまって子どもに手を上げたり、世話をしなかったりする
  - 18. 地域の子育て支援サービスの内容や利用方法がわからない
  - 19. 子どもの気持ちがくみ取れない、わからないこと
  - 20. その他(
  - 21. 特に悩んでいる事はない

)

# 問3 現在、児童虐待が大きな問題となっています。虐待の原因は何だと思いますか。 (あてはまるものすべてにO)

- 1. 核家族化の進行
- 2. 地域の人間関係の希薄化
- 3. 父親の長時間勤務による母親の孤立化
- 4. 育児体験の減少
- 5. 親が未熟で自分の感情を抑えられないから
- 6. 親が子ども以外のことでストレスにさらされている
- 7. 親の成育暦による世代間連鎖
- 8. 経済的困窮
- 9. 親の疾病・障害・精神疾患
- 10. ひとり親
- 11. 配偶者 (パートナー) からの暴力
- 12. その他(

問4 児童虐待を防止するにはどのような取り組みが必要だと思いますか。

## (あてはまるもの3つまで〇)

- 1. 日常的な育児相談機能の強化
- 2. 妊産婦・産前産後の検診等の母子保健事業の充実
- 3. 福祉、教育、保健、医療機関、NPO等民間機能、市民団体との連携強化
- 4. 学校、保育所、幼稚園施設等との連携と早期発見及び適切な対応の仕組みづくり
- 5. 学校、保育所、幼稚園施設等での教育と人材確保
- 6. 在宅支援の充実など育児負担の軽減
- 7. 母親の育児不安への早期対応、カウンセリング、治療の実施
- 8. 親子で行ける居場所づくり
- 9. 虐待通報の義務化、警察・児童相談所介入の強化
- 10. 虐待加害者の重罰化、治療の義務化
- 11. 子ども自身の自己決定能力習得のための教育
- 12. 一時保護所機能を持つ施設や里親の拡充
- 13. その他 ( )

# 3 サービスの動向について(保育関連施設の方、該当される場合にお答えください。)

問	5 今後の保育サービスの需要に (あてはまるもの1つにO)	こつ	いて、	どのような見ば	通しを打	寺っていますか。
	<ol> <li>今後、さらに増加すると思う</li> <li>やや増加していくと思う</li> <li>ほぼ、横ばいと思う</li> <li>需要は減少していくと思う</li> <li>その他(</li> <li>わからない</li> </ol>					)
	6 問5で答えた見通しの下で <del>1</del> ださい。 <u>(①~④項目それぞれ</u> ①基本定員の拡大について				員・時間	間についてお答えく
	1. 考えたい	2.	考え	ていない		
(Z						
	1. 拡大したい	2.	縮小	したい	3.	現状維持でよい
	3延長保育の拡大について					
	1. 考えたい	2.	考え	ていない		
(2	④延長保育の時間の拡大についる	<u> </u>				
	1. 拡大したい	2.	縮小	したい	3.	現状維持でよい
	7 土曜の保育サービスの定員 (①~④項目それぞれ1つだ!) ①基本定員の拡大について			ついてお答えく)	<b>ごさい。</b>	,
	1. 考えたい	2.	考え	ていない		
(Z						
	1. 拡大したい	2.	縮小	したい	3.	現状維持でよい
	3延長保育の拡大について					
	1. 考えたい	2.	考え	ていない		
(4	9延長保育の時間の拡大について					

2. 縮小したい

3. 現状維持でよい

1. 拡大したい

# 問8 休日の保育サービスの定員・時間についてお答えください。 (①~④項目それぞれ1つだけ〇) ①基本定員の拡大について 1. 考えたい 2. 考えていない ②基本となる営業時間について 1. 拡大したい 2. 縮小したい 3. 現状維持でよい ③延長保育の拡大について 2. 考えていない 1. 考えたい ④延長保育の時間の拡大について 1. 拡大したい 2. 縮小したい 3. 現状維持でよい 問9 入所・利用定員を増やす場合、障害となる要素をお答えください。 (あてはまるものすべてに〇) 1. 職員の増員が追いつかない 2. 施設の規模をこれ以上拡大できない 3. 施設を増築する資金がない 4. 少子化が進んでおり、今後が不安 5. 連携している施設の協力を得られない 6. 情報が十分でなく本当に需要があるかどうか不安 7. 定員増を行なうと経営を圧迫する 8. 職員の人達との話し合いがうまくいきそうにない 9. 保育の質が落ちることが懸念される 10. 職員の長時間労働をこれ以上進められないため 11. その他( ) 上記障害について必要と思う支援は何だと思いますか

問10 今後実施を検討している事業があれば選んでください。

### (あてはまるものすべてに〇)

- 1. 病児・病後児保育事業
- 2. 子育て短期支援事業(ショートステイ事業) 9. 休日保育事業
- 3. 子育て短期支援事業(トワイライト事業)
- 4. 放課後児童健全育成事業
- 5. 一時保育事業
- 6. 子育てひろば事業
- 7. 通常保育事業

- 8. 延長保育事業
- 10. 夜間保育事業
- 11. 産後支援ヘルパー事業
- 12. 訪問型一時保育事業
- 13. 認証保育所
- 14. その他(

### 4 子育て支援活動について

問11 日々の事業や活動を通して保護者の方と接する中で、保護者の方々が子育て をするにあたって地域に求めている事はどんな事だと思いますか。

### (あてはまるものすべてに〇)

- 1. 子育ての相談や情報交換をしたい
- 2. 危険な遊びやいじめを見つけたら注意してほしい
- 3. 遊びの相手やスポーツを一緒にしてほしい
- 4. 子ども会やお祭りなど子どもが参加できる活動や行事
- 5. 緊急時に子どもを預かってほしい
- 6. 地域で子どもを見守り育てるという気持ちをもってほしい
- 7. ともに子育てできるグループやサークルなどがほしい
- 8. その他(
- 9. 特に求めている事はない

問12 一般的に、日本では家庭における養育力(子どもを産み、育て、しつけ、 教育する全般的力)が低下してきていると思いますか。

#### (あてはまるもの1つに0)

- 1. 思う 2. 思わない 3. どちらともいえない 4. わからない

)

# 問13 最近の子育て中の家庭について、あてはまると思うことは何ですか。 (あてはまるものすべてにO)

- 1. 子どもに対して、過保護、甘やかせ過ぎや過干渉である
- 2. テレビ、映画、雑誌等が子どもに悪い影響を及ぼしている
- 3. 家庭での子育て、しつけや教育のし方がわからない親が増えている
- 4. 家庭での子育て、しつけや教育に無関心な親が増えている
- 5. 学校や塾など外部の教育機関に、しつけや教育を依存しすぎている
- 6. 父親の存在感が希薄化している
- 7. 家庭での子育て、しつけや教育に自信を持てず不安に思う親が増えている
- 8. 子どもが親以外の大人(祖父母、近所の人)とふれあう機会が低下している
- 9. 家庭での子育て、しつけや教育について明確な方針を持たない親が増えている
- 10. 親子がふれあい、ともに行動する機会が不足している
- 11. 家族一人ひとりが個人主義化(家族が多様化)している
- 12. 子どもにいろいろな体験をさせる機会が不足している
- 13. 子育て、しつけや教育についての相談相手(祖父母等)が不足している
- 14. 親に対する子どもの信頼感が低下している
- 15. 親自身の日常生活にゆとりがない
- 16. 子どもが兄弟・姉妹、友人等の間で互いに励まし競い合わせる機会が不足している
- 17. 子どもが、働く親の姿を知る機会が不足している
- 18. 親になるまで、小さな子どもと接する機会が減っている
- 19. いろいろ悩みながらも、がんばって子育てをしている
- 20. その他(

問14		現在、	取り組んでいる子育て支援活動についてお聞かせください。

問15 日野市における子育て環境や支援への満足度についてお答えください。

# (1つだけ0)

満足度が低い	•		<b></b>	満足度が高い
1	2	3	4	5

意見やご要望などがございましたら、ご自由にご記入ください。							

ご協力ありがとうございました。

調査票は、同封の返信用封筒に入れ、12月25日(水)までにご投函くださいますようお願いいたします。(切手は不要です。)